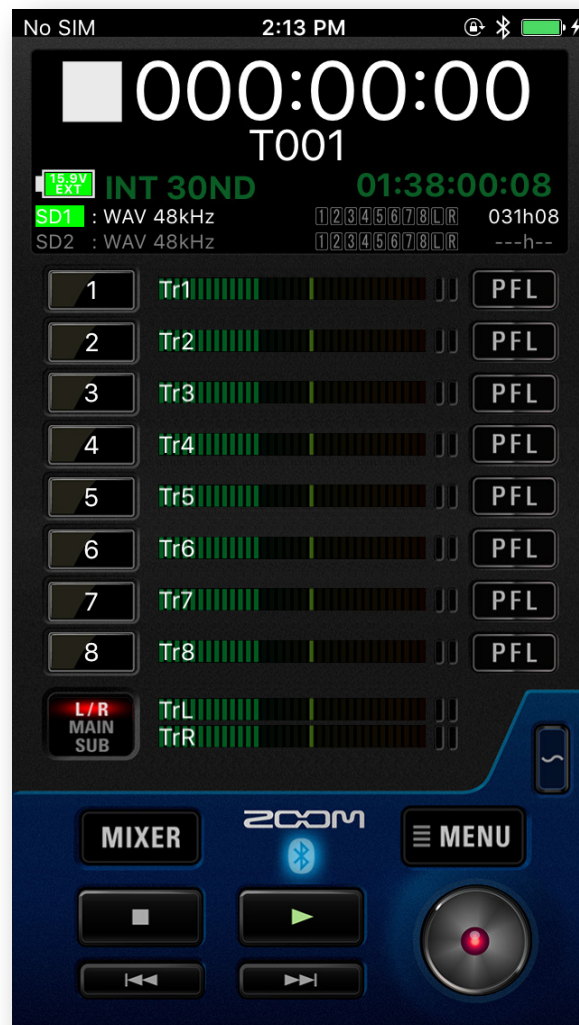


F8 Control Version2.2

オペレーションマニュアル



目次

目次	2
はじめに	3
著作権について	3
F8 Controlをインストールする	3
レコーダー本体と接続を行う	4
操作画面について	5
画面の流れ	5
HOME画面	6
MIXER画面	6
文字入力画面	7
F8 Control Version2.1で追加された機能について	8
トラックネームを表示する	8
ポップアップ表示機能	8
F8 Controlと FRC-8 を同時に使用する	9
レコーダー本体との互換性について	9
録音の準備	11
録音するSDカード、録音ファイルの形式を設定する	11
録音する	12
入力を選択するには	12
ステレオリンクを設定するには	12
入力レベルを調節するには	13
録音する	13
録音に関する各種機能を設定する	14
録音時のテイク設定を変更する	15
再生する	17
再生するテイクを選択する	17
再生する	17
テイクをミキシングする	18
フォルダー／テイクの操作	19
FINDER画面を表示する	19
SDカード／フォルダーの内容を表示する	19
フォルダー／テイクを操作する	20
入力信号に関する設定	22
入力信号のモニターバランスを調節するには	22
トラックごとの各種設定を行う	23
出力に関する設定	25
出力レベルを調節するには	25
アンビソニック録音に関する設定	26
アンビソニック録音の設定を行うには	26
オートミックス機能に関する設定	27
オートミックス機能を有効にするには	27
スレートトーンを録音する	28
録音する	28
スレートトーンを無効にする	28
その他の機能	29
日付／時刻を設定する	29
F8 Controlのバージョンを表示する	29
F8 Controlをバックグラウンドで使用する	30

はじめに

F8 Controlは、**ZOOM** マルチトラック・フィールド・レコーダー **F8 / F8n** (以降、本マニュアルでは「レコーダー本体」といいます) 専用のリモートコントロールアプリケーションです。iOS機器上で、レコーダー本体の録音／再生などの操作や、ミキサーの調節を行うことができます。

なお、本書では、レコーダー本体の操作についての説明はしていません。各機能の詳しい内容については、「**F8 / F8n**オペレーションマニュアル」を確認してください。

著作権について

iPad, iPhone, iPod, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

* 文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

F8 Controlをインストールする

1. iOS機器でApp Storeを起動し、「F8 Control」を検索する
2. F8 Controlの画面で「入手」をタップする

F8 Controlがインストールされます。

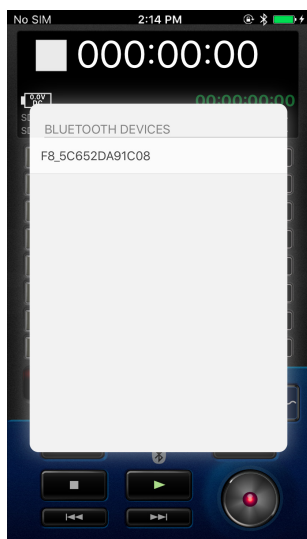




MEMO



- F8 Control Version2.2の動作環境は以下の通りです。
iOS 9.0以降

レコーダー本体と接続を行う

1. レコーダー本体を起動する
2. レコーダー本体でiOSのバージョンを選択する
MENU>SYSTEM>Bluetooth>iOS Version (F8 Control)から、
接続するiOS機器のバージョンに合わせて選択してください。
 - ・iOS9～12の方: iOS 9-12
 - ・iOS/iPadOS13以降の方: iOS 13
3. レコーダー本体の **MENU** を数回押してホーム画面に戻る
4. レコーダー本体の **MENU** を長押しする
LCD画面に確認のメッセージが表示されます。



5.  で「Yes」を選択して、 を押す

6.  で「iOS」を選択して、 を押す

7. iOS機器でF8 Controlのアイコンをタップする

F8 Controlが起動し、Bluetooth機器リストが表示されます。機器名/IDをタップするとレコーダー本体と接続されます。

※iOS12以前の場合は、Bluetooth機器リストは表示されません。



MEMO

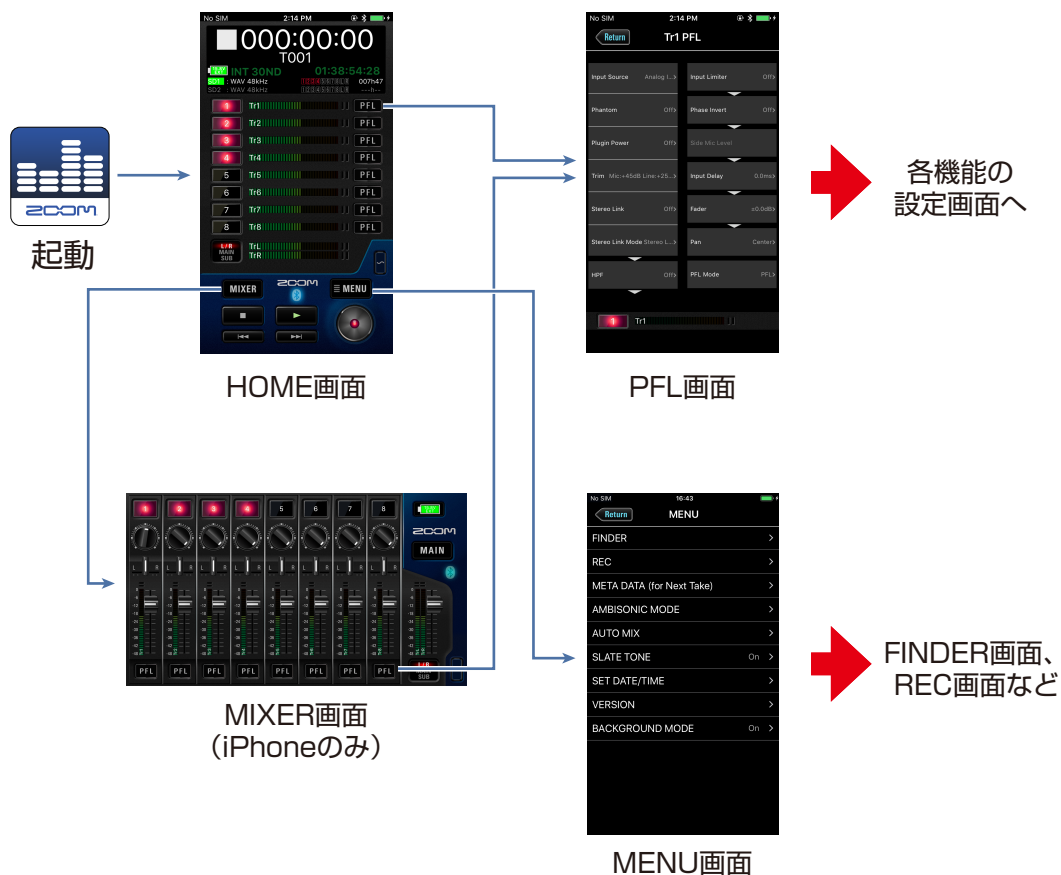
- ・ F8 Control側にペアリングの要求が表示された場合、レコーダー本体側に表示されているパスワードを入力してください。



- ・ 接続がうまくできない場合、レコーダー本体との距離を近づけたり、電波をさえぎるものがない場所に移動してF8 Controlを起動し直してください。または、iOS機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。それでも接続できない場合、お使いのiOS機器の取り扱い説明書に従って、iOS機器にBluetooth機器として登録されているレコーダー本体を解除し、手順の最初からやり直してください。

操作画面について

画面の流れ



■ HOME画面 (iPad版)

iPad版では、HOME画面上でMIXER画面の全ての操作が行えます。独立したMIXER画面はありません。



HOME画面

F8 Controlを起動すると、HOME画面が表示されます。



MIXER画面



文字入力画面

テイク、フォルダー名などの入力を行う場合、文字入力画面が表示されます。



1. キーボードで文字を入力する

入力した内容がテキストボックスに表示されます。

MEMO

- 入力に使用できる文字は以下のとおりです。
(スペース) !# \$%&'()+,-0123456789;=@ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ[]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{}`
「Note」以外の入力では、文字先頭に「@」「(スペース)」は入力できません。

2. 入力が終わったら、**Enter** をタップする

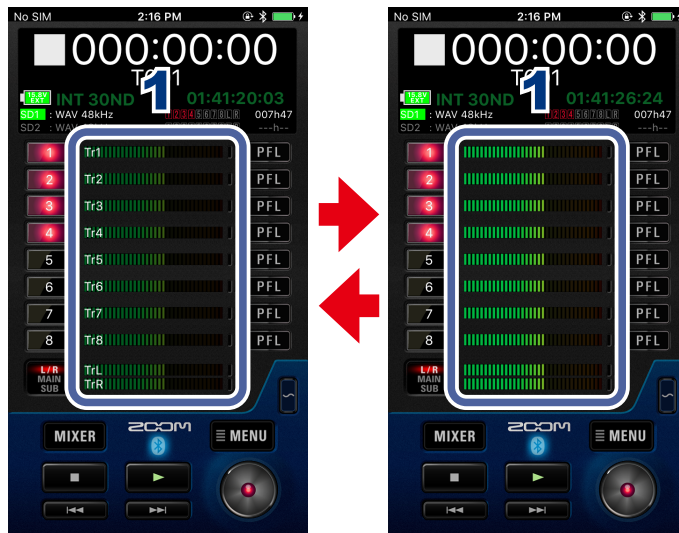
入力した内容が確定します。

入力を取り消す場合は、**Return** をタップします。

F8 Control Version2.1で追加された機能について

トラックネームを表示する

F8 Control Version2.1以降では、各トラックのトラックネームを表示できます。



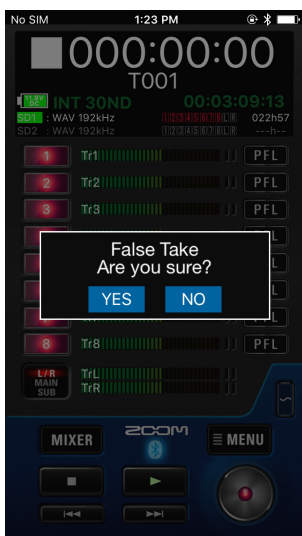
1. レベルメーターをタップする

全トラックのトラックネームの表示／非表示が切り替わります。

ポップアップ表示機能

F8 Control Version2.1以降では、レコーダー本体に表示されるポップアップがF8 Control上にも表示されます。

また、ポップアップ表示内でYES/NOのように選択ができるセレクトポップアップが表示されている場合は、選択肢をタップして設定を行います。



F8 ControlとFRC-8を同時に使用する

F8 Control Version2.1以降とレコーダー本体を接続しながら、更に**FRC-8**をレコーダー本体と接続し同時に使用することができます。

F8 Controlと**FRC-8**を同時に使用している間は、F8 Controlはモニター用として機能します。そのため、F8 Controlの以下の操作のみ使用可能となり、他の操作は使用不可となります。

- OUTPUT表示切替ボタン
- MIXERボタン (iPhoneのみ)
- MAINボタン (iPhoneのみ)
- トラックネーム表示／非表示切り替え機能 (→P.8)

MEMO

- レコーダー本体をAudio Interfaceとして使用している場合、レコーダー本体とF8 Controlは接続できません。
- FRC-8**について詳しくは、本体マニュアルの「**FRC-8**を使う」を参照してください。

レコーダー本体との互換性について

F8 Control Version2.1以降と**F8**および**F8n**を接続した場合、以下の機能が使用できます。

F8n

- F8 Control Version2.1以降として機能します。
- 本マニュアルに記載している全ての機能が使用できます。
- F8 Control Version2.1以降を使用している間、iOS機器はスリープモードへ移行しません。

F8 Version5.0以降

- F8 Control Version2.1以降として機能します。
- 本マニュアルに記載している全ての機能が使用できます。
- F8 Control Version2.1以降を使用している間、iOS機器はスリープモードへ移行しません。

F8 Version4.1以前

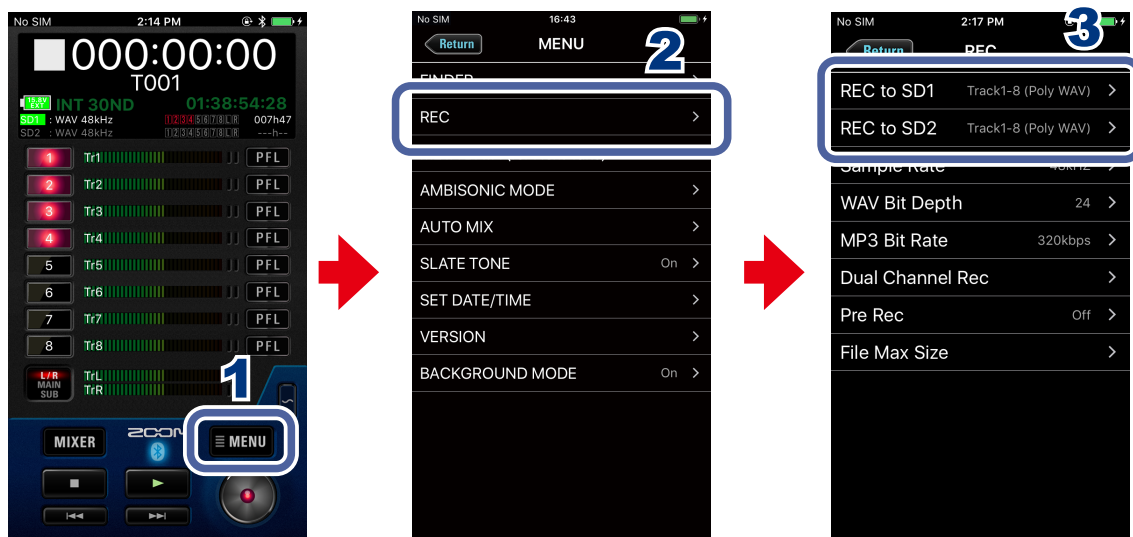
- F8 Control Version1.0として機能します。
- HOME画面でのトラックネーム表示機能や、F8 Controlに表示されるポップアップ機能は使用できません。
- F8 Controlと**FRC-8**の同時使用はできません。
- MENU画面では以下の機能が使用できません。
 - Dual Channel Rec (→P.14)
 - Pre Rec (→P.14)
 - File Max Size (→P.15)
 - Scene Increment Mode (→P.16)
 - Track Name (→P.16)

- Take Name Format (→P.16)
- AMBISONIC MODE (→P.26)
- AUTO MIX (→P.27)
- PFL画面内では以下の機能が使用できません。
 - Input Source (→P.23)

録音の準備

録音するSDカード、録音ファイルの形式を設定する

SDカードスロット1、2のそれぞれに対して、録音するファイルの形式を設定します。



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で [REC] をタップする
3. REC画面で [REC to SD1] / [REC to SD2] をタップし、設定を変更する

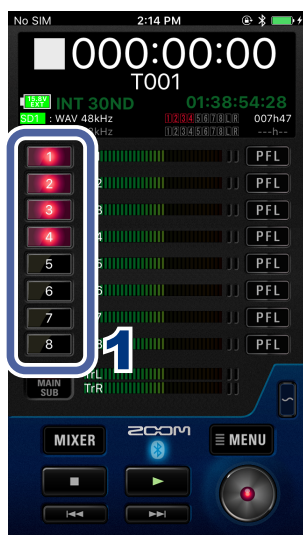
MEMO

- ・詳しくは本体マニュアルの「録音するSDカード、録音ファイルの形式を設定する」を参照してください。

録音する

入力を選択するには

使用する入力をインプット1～8の中から選択します。

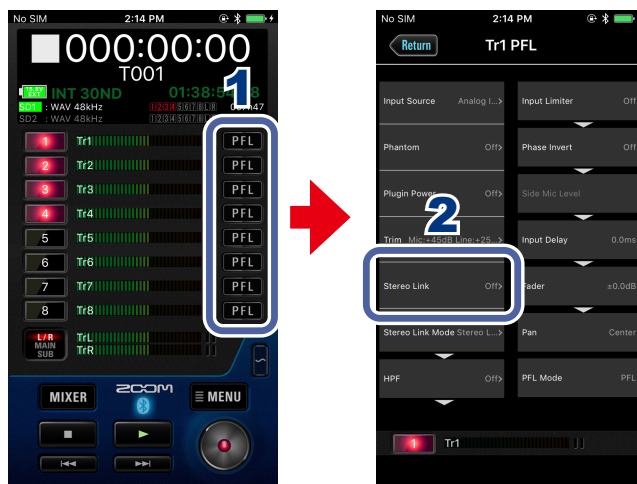


1. HOME画面で、録音するインプットのトラック選択ボタンをタップする

録音対象になるトラックは赤く点灯し、録音しないトラックは黒く表示されます。

ステレオリンクを設定するには

トラック1/2、3/4、5/6、7/8をステレオトラックとして使うことができます。



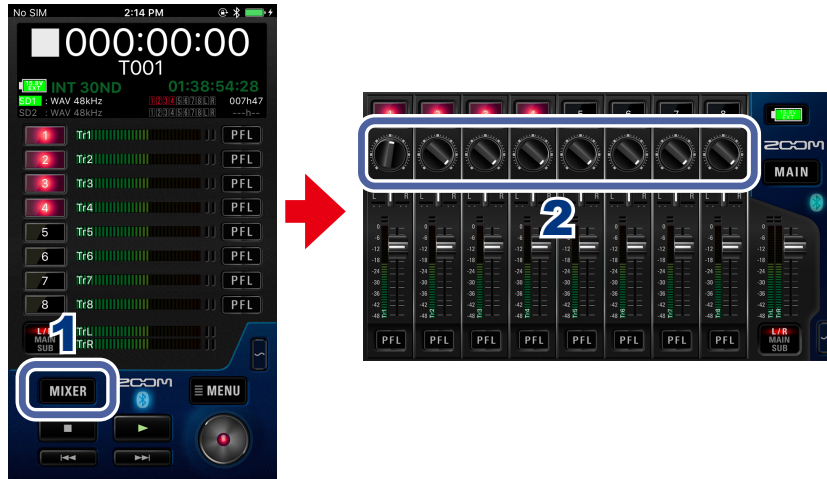
1. HOME画面でステレオリンクを設定するトラックの **PFL** をタップする

2. PFL画面で[Stereo Link]をタップし、変更を行う

MEMO

- 詳しくは本体マニュアルの「入力を選択する・レベルを調節する」を参照してください。

● 入力レベルを調節するには



1. HOME画面で **MIXER** をタップする
iPadの場合、HOME画面で行います。
2. MIXER画面で、調節するトラックの入カトリムノブを上下にドラッグし、レベルを調節する







MEMO

- ・ 入力トリムノブをダブルタップすると、設定値を初期化できます。

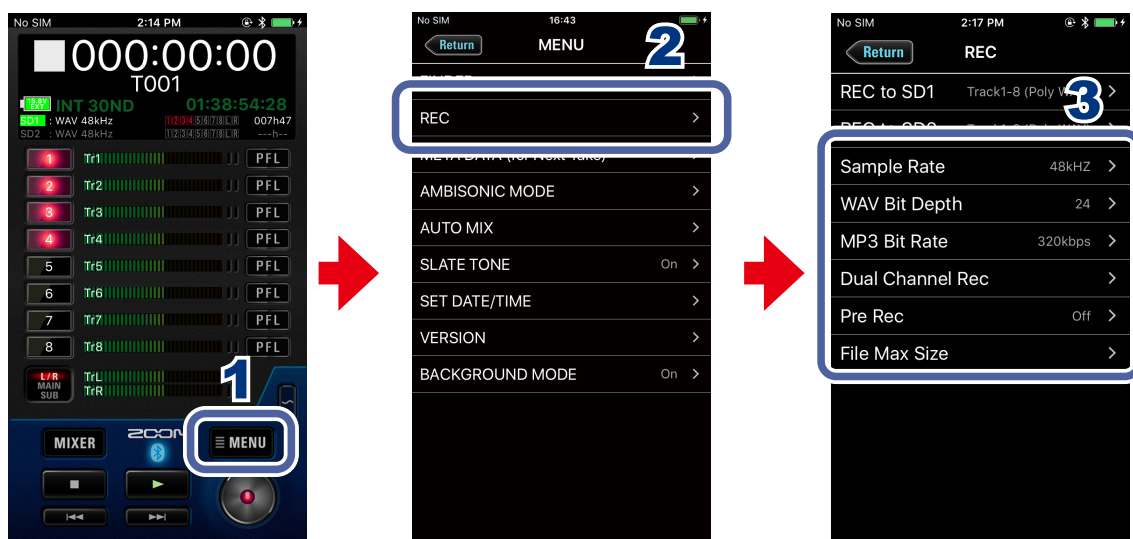
● 録音する




1. HOME画面で  をタップする

2. 録音中に次テイクの録音を開始するには  をタップする
録音は継続したまま現在の録音を停止し、新たに録音が始まります。
3. 一時停止するには  をタップする
もう一度  をタップすると録音を再開します。
4. 停止するには  をタップする

録音に関する各種機能を設定する



1. HOME画面で  MENU をタップする
2. MENU画面で [REC] をタップする
3. REC画面で設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Sample Rate

録音するファイルのサンプルレートを設定します。

■ WAV Bit Depth

録音するWAVファイルのビット深度を設定します。

■ MP3 Bit Rate

録音するMP3ファイルのビットレートを設定します。

■ Dual Channel Rec

デュアルチャンネル録音機能のOn/Offを設定します。

■ Pre Rec

時間をさかのぼって録音するプリ録音機能のOn/Offを設定します。

■ File Max Size

録音ファイルの最大サイズを設定します (Size)。

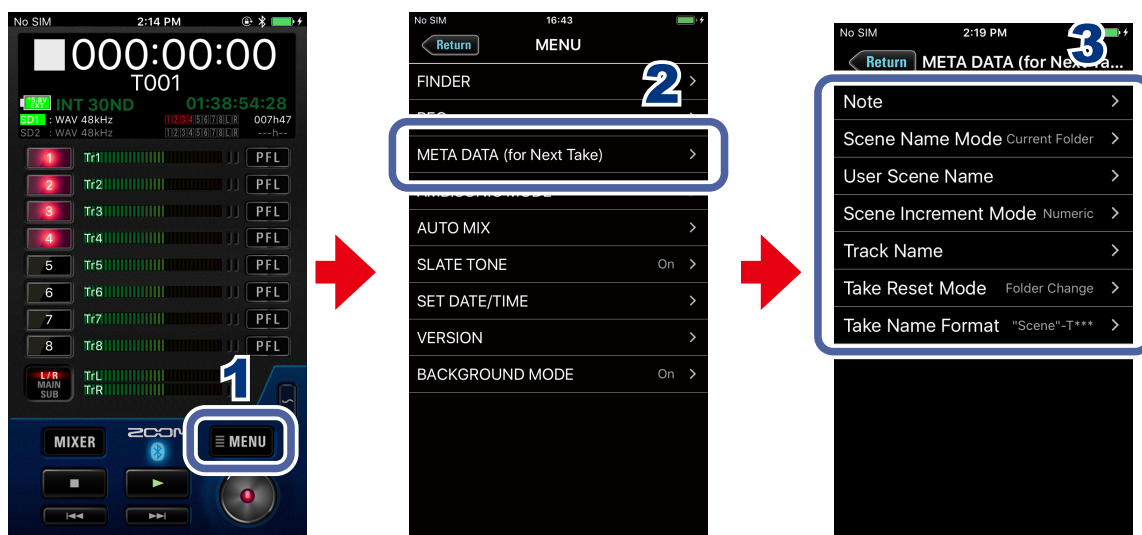
また、録音ファイルが最大サイズに到達したときに、HOME画面に表示されるトータルの録音時間をリセットするかどうかを設定します (Time Counter)。

MEMO

- 詳しくは本体マニュアルの下記ページを参照してください。
 - 「サンプルレートを設定する (Sample Rate)」
 - 「WAVファイルのビット深度を設定する (WAV Bit Depth)」
 - 「MP3ファイルのビットレートを設定する (MP3 Bit Rate)」
 - 「1トラックに異なる入力レベルで同時に録音する (Dual Channel Rec)」
 - 「時間をさかのぼって録音する (Pre Rec)」
 - 「最大ファイルサイズ (File Max Size)」
 - 「長時間録音時にトータルの録音時間を表示する (Time Counter)」

録音時のテイク設定を変更する

録音時のテイクのシーン名などを変更します。



1. HOME画面で **MENU** をタップする

2. MENU画面で [META DATA (for Next Take)] をタップする

3. 設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Note

メタデータとして次に録音されるテイクにメモなどの文字を入力します。

■ Scene Name Mode

次に録音されるテイクのシーン名のつけ方(モード)を選択します。

■ User Scene Name

Scene Name Modeで「User Name」を選択した場合、ここで変更したシーン名が使用されます。

■Scene Increment Mode

次に録音されるテイクのシーン名のシーン番号の進め方を設定します。

■Track Name

次に録音されるテイクのトラック名を編集します。

■Take Reset Mode

次に録音されるテイクのテイク名がリセットされる条件を設定します。

■Take Name Format

次に録音されるテイク名のフォーマットを設定します。

MEMO

- ・詳しくは本体マニュアルの「録音テイクの設定」を参照してください。







再生する

再生するテイクを選択する

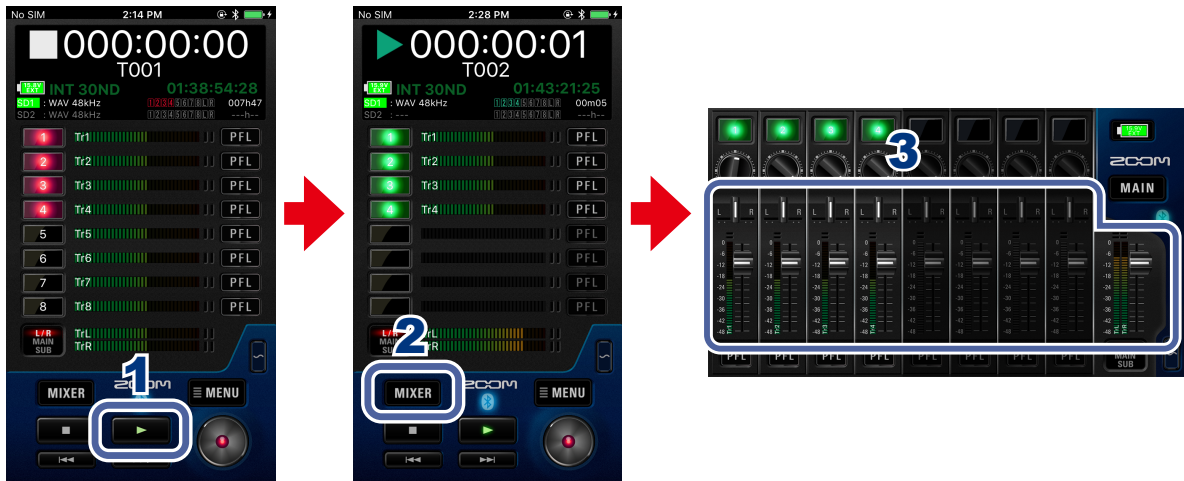
1. HOME画面で   をタップする
再生テイクが切り替わります。

再生する



1. HOME画面で  をタップする
2. 早送りするには  を、早戻しするには  をホールドする
マーク位置の頭出しを行うには、  をタップします。
3. 一時停止するには  をタップする
もう一度  をタップすると再生を再開します。
4. 停止するには  をタップする

● テイクをミキシングする



1. HOME画面で をタップする

2. **MIXER** をタップする

iPadの場合、HOME画面で行います。

3. MIXER画面で各パラメーターの設定値を変更する

■ パンフェーダーを操作する



パンフェーダーを左右にドラッグすると値を変更できます。

MEMO

- ・パンフェーダーをダブルタップすると、設定値を初期化できます。

■ レベルフェーダーを操作する



レベルフェーダーを上下にドラッグすると値を変更できます。

MEMO

- ・レベルフェーダーをダブルタップすると、設定値を初期化できます。
また、設定値が初期値の時は、設定値をMuteに設定できます。

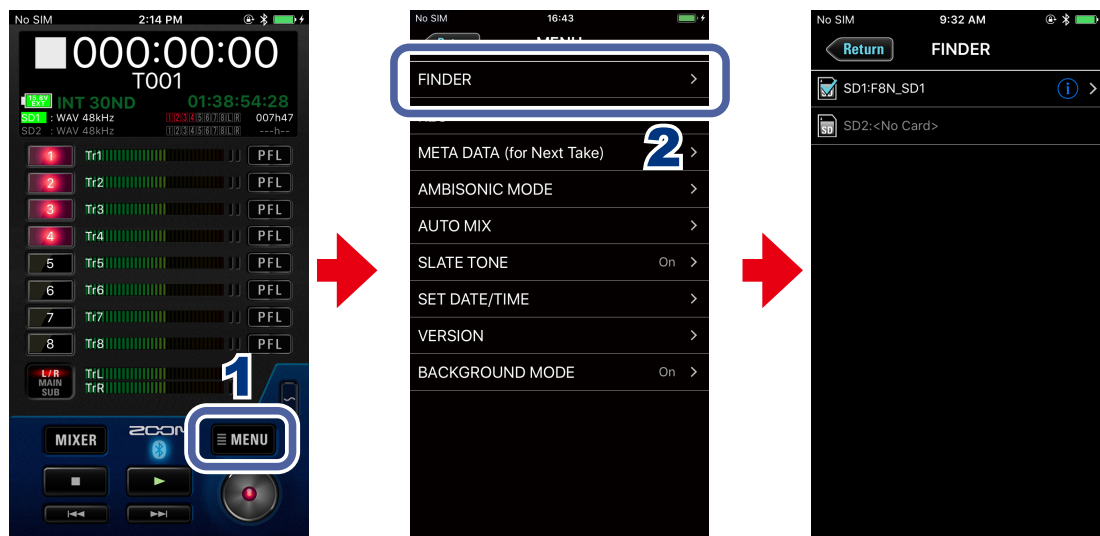
MEMO

- ・ **L/R MAIN SUB** をタップしてL/Rに切り替えると、L/Rのレベルを変更できます。

フォルダー／テイクの操作

FINDER画面を表示する

レコーダー本体のSDカード内のフォルダー／テイクの編集・確認は、FINDER画面で行います。



1. HOME画面で、**MENU** をタップする

2. MENU画面で、**[FINDER]** をタップする

SDカード／フォルダーの内容を表示する



1. FINDER画面で、表示したいSDカード／フォルダー名をタップする
SDカード／フォルダー内のフォルダー／テイク一覧が表示されます。

2. 1つ上の階層に戻るには、**Return** をタップする

● フォルダー／テイクを操作する

フォルダー／テイクの情報の確認、名前の変更、メタデータの編集を行うことができます。



1. 操作したいフォルダー／テイク名の右側にある **i** をタップする
オプション画面が表示され、以下の情報を確認できます。

情報表示の内容

選択項目	項目名	内 容
SDカード	Free Size Remain	空き容量 サイズ 残り録音可能時間
フォルダー	Path Date Time	フォルダーのパス 作成日 作成時刻
テイク	Path TC FPS Len Fmt Date Time Size Side Mic Level	テイクのパス タイムコード フレームレート 時間長 録音フォーマット 作成日 作成時刻 サイズ MSサイドマイクレベル

2. 設定を変更または操作する項目をタップする

■Select

再生するテイクの保存されたフォルダー、または録音したテイクを保存するフォルダーを選択し、HOME画面に戻ります。

MEMO

- ・ 選択したSD カードまたはフォルダー内の最初のテイクが再生テイクとして選択された状態になります。

■Rename

フォルダー／テイク名を変更します。文字の入力方法は「文字入力画面」(→P.7)を参照してください。

■Mata Data Edit

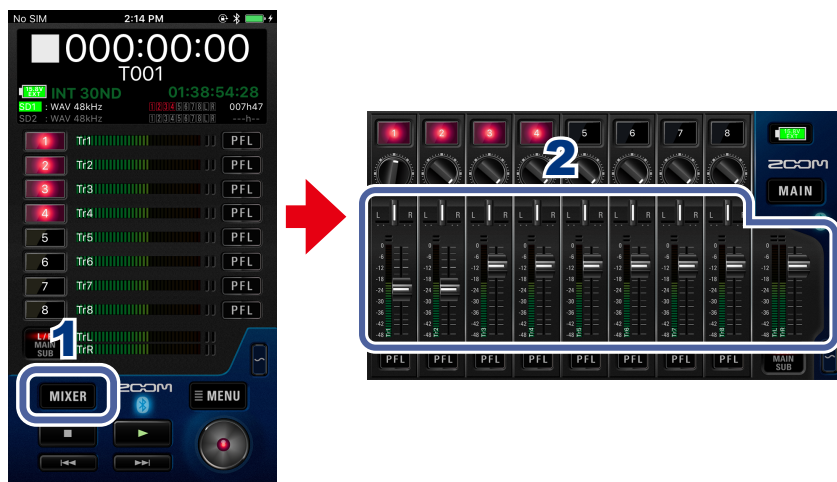
テイクの情報(メタデータ)を確認、編集します。

MEMO

- ・ 詳しくは本体マニュアルの「テイクの情報(メタデータ)を確認、編集する」を参照してください。

入力信号に関する設定

● 入力信号のモニターバランスを調節するには



1. HOME画面で **MIXER** をタップする
iPadの場合、HOME画面で行います。

2. 各パラメーターの設定値を変更する

MEMO

- ・ 調節方法については「テイクをミキシングする」(→P.18)を参照してください。
- ・ ここで調節した音量やパンはモニター信号にのみ有効で、録音データには反映されません。



- ・ **L/R MAIN SUB** をタップしてL/Rに切り替えると、L/Rのレベルを変更できます。

トラックごとの各種設定を行う

それぞれのトラックに対する設定は、PFL画面で行います。



1. HOME画面で設定を行うトラックの **PFL** をタップする
PFL画面が表示されます。
2. PFL画面で設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Input Source

各トラックのインプットソースを設定します。

■ Phantom

各インプットごとにファンタム電源のOn/Offと電圧の設定が可能です。

■ Plugin Power

プラグインパワーに対応しているマイクをマイクカプセルの[MIC/LINE]入力端子に接続する場合に設定します。

■ Trim

入力レベルを調節します。

■ Stereo Link

入力のステレオリンクを設定します。

■ Stereo Link Mode

ステレオリンクしたトラックに入力したMS方式のステレオマイクの信号を、通常のステレオ信号に変換します。

■ HPF

低域をカットして、風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。

■ Input Limiter

レベルが高すぎる入力信号を抑えて、信号が歪むのを防ぎます。

■ Phase Invert

入力信号の位相を反転させます。

■ Side Mic Level

MSタイプのマイクカプセルを使用したトラックで、録音前にサイドマイクレベル(ステレオ幅)を調節できます。

■ Input Delay

各インプットの音にタイミングのズレがある場合、それを補正して録音できます。

■ Fader

入力信号の音量を調節します。

■ Pan

左右の音のバランスを調節します。

■ PFL Mode

PFL画面でモニターする音を、プリフェーダー (PFL) / ポストフェーダー (SOLO)のどちらかに設定できます。

MEMO

- ・ 詳しくは本体マニュアルの下記ページを参照してください。
 - 「インプットソースを設定する (Input Source)」
 - 「ファンタム電源の設定を変更する (Phantom)」
 - 「プラグインパワーの設定を変更する (Plugin Power)」
 - 「入力を選択する・レベルを調節する」
 - 「入力信号をMS方式からステレオにエンコードする (Stereo Link Mode)」
 - 「ノイズを軽減する [低域カット] (HPF)」
 - 「入力リミッター (Input Limiter)」
 - 「入力位相反転 (Phase Invert)」
 - 「MSタイプのマイクカプセルのサイドマイクレベルを調節する (Side Mic Level)」
 - 「入力信号に遅延をかける (Input Delay)」
 - 「PFL画面でのモニター音を設定する (PFL Mode)」

出力に関する設定

● 出力レベルを調節するには



1. HOME画面で **MIXER** をタップする
iPadの場合、HOME画面で行います。
2. MIXER画面で **L/R MAIN SUB** をタップして、MAINまたはSUBに切り替える
3. 出力のレベルフェーダーを上下にドラッグし、レベルを調節する

アンビソニック録音に関する設定

アンビソニック録音の設定を行うには



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で[AMBISONIC MODE]をタップする
3. AMBISONIC MODE画面で設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Format

アンビソニック録音のフォーマットを設定します。

■ Mic Position

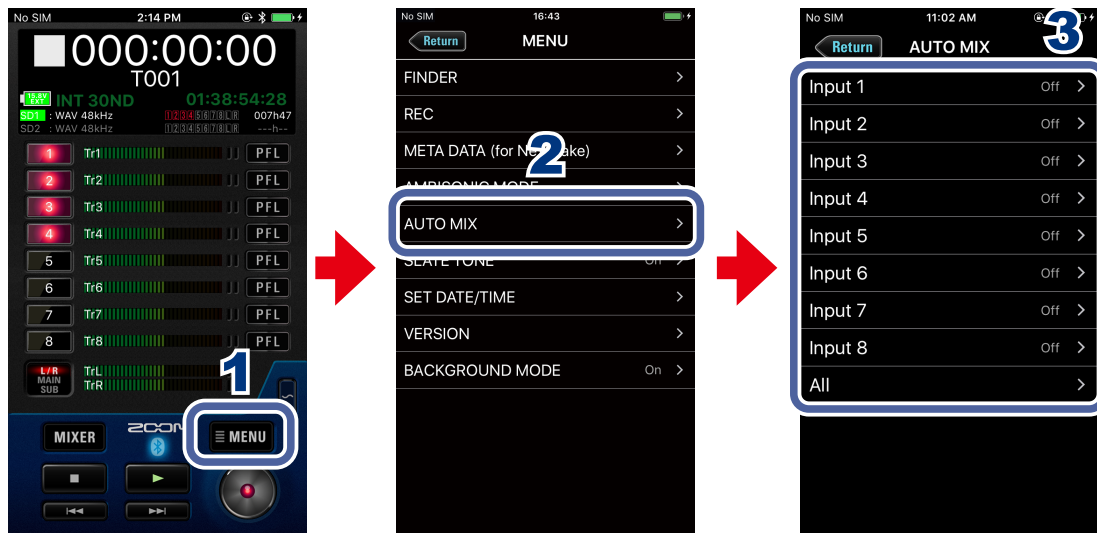
アンビソニック録音時のマイクポジションを設定します。

MEMO

- ・ 詳しくは本体マニュアルの下記ページを参照してください。
「Ambisonic Modeのフォーマットを設定する」
「アンビソニック録音時のマイクポジションを設定する(Mic Position)」

オートミックス機能に関する設定

● オートミックス機能を有効にするには



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で **[AUTO MIX]** をタップする
3. AUTO MIX画面でオートミックス機能を有効にしたい入力トラックをタップする

MEMO

- ・ 全トラックを一括で設定する場合は、[All]を選択します。
- ・ 詳しくは本体マニュアルの下記ページを参照してください。
「オートミックスの設定を変更する (Auto Mix)」

スレートトーンを録音する

録音する



録音開始時にスレートトーンを入れることで、編集作業時に動画ファイルとの位置合わせがしやすくなります。




1. HOME画面で  をタップする

2. HOME画面で  をタップする

MEMO

-  を1秒以上ホールドすると、スレートトーンが有効になったままになり、再度  をタップすると無効になります。

スレートトーンを無効にする

 を誤ってタップした時、有効にならないように設定します。

1. HOME画面で  をタップする

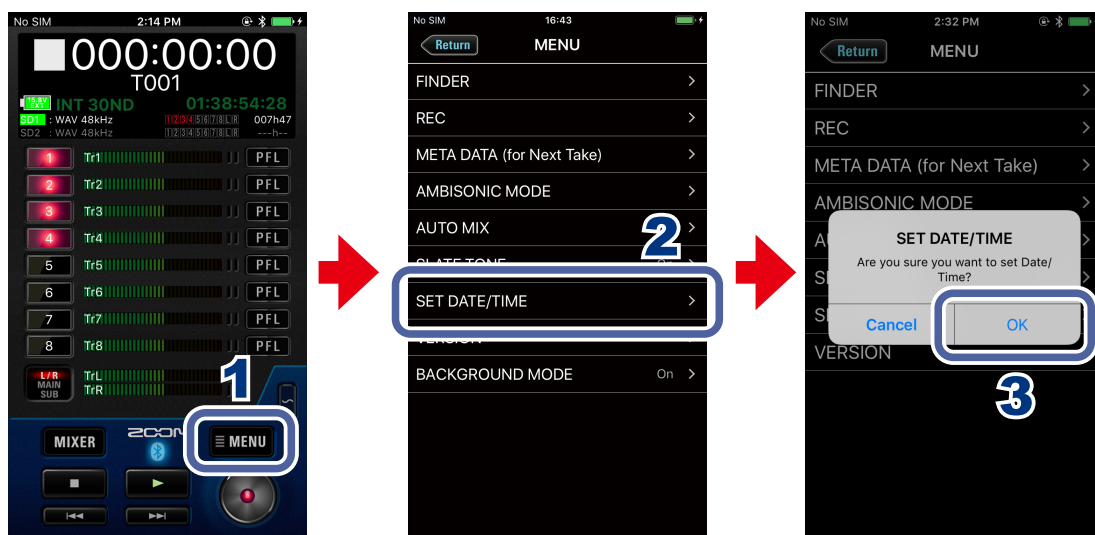
2. MENU画面で [SLATE TONE] をタップする

3. SLATE TONE画面で [Off(Lock)] をタップする

その他の機能

日付／時刻を設定する

レコーダー本体の日付／時刻を、iOS機器のシステムクロックに合わせます。



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で [SET DATE/TIME] をタップする
3. 確認の画面で「OK」をタップする
レコーダー本体の日付／時刻が設定されます。

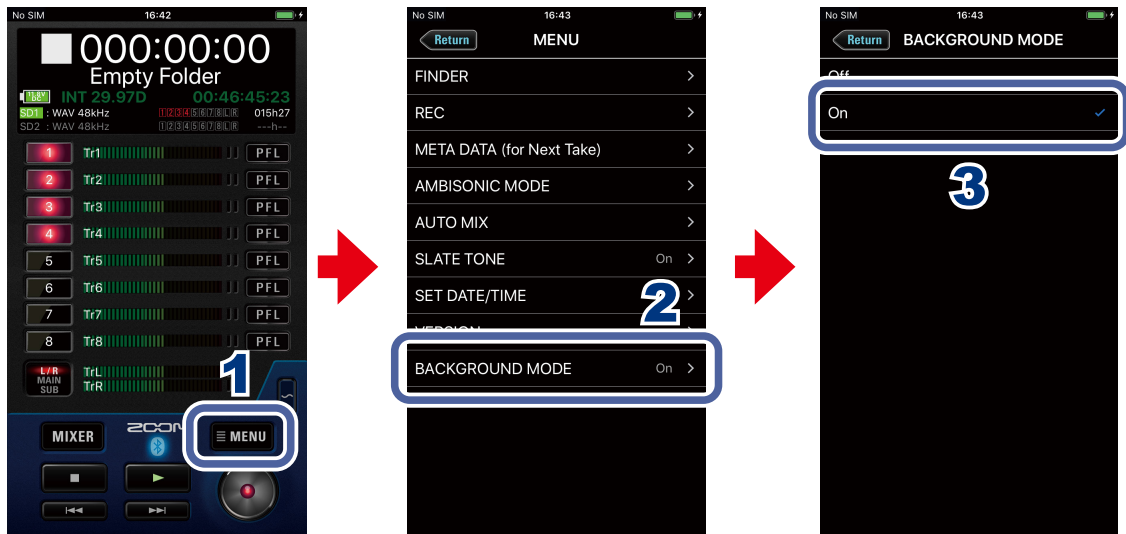
F8 Controlのバージョンを表示する

F8 Controlのバージョンを確認します。

1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で [VERSION] をタップする

● F8 Control をバックグラウンドで使用する

iOS機器でF8 Controlをバックグラウンドにしてもレコーダー本体との接続が切れなくなります。



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で [BACKGROUND MODE] をタップする
3. BACKGROUND MODE画面で [On] をタップする

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
www.zoom.co.jp

Z2I-3384-04